

会報 骨髓バンク



会報発行：骨髓バンクを支援するいばらきの会 <http://ibaraki.marrow.jp.net/>
発行責任者：牛島英二 編集：境野紀子 伊井義人
<事務局> 〒300-2622 茨城県つくば市要315-93 伊井方
TEL：090-3087-9960 / FAX：029-864-3230
E-mail：bmt-ibaraki-owner@egroups.co.jp

【新年のご挨拶】

会長 牛島英二

皆様、新年おめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。昨年、骨髓バンクを振り返ってみましょう。

まず、全国レベルでは一昨年1月にドナー登録数が40万人に到達しましたが、11月末現在の登録者数は440,369人で、この一年間に約1.6万人の増加となっており、新規登録者数も順調に増加しています。また、骨髓移植実施数は前年同様に月間100例を超えるハイペースで、累計で16,317例となり、年間では1,353例（11月末現在）の増加となりました。

10月には、骨髓移植推進財団が「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」の成立公布により「骨髓・末梢血幹細胞提供あっせん事業者」と位置付けられたことを契機として、「公益財団法人 日本骨髓バンク」へと

名称変更しました。「一人でも多くの患者さんに移植のチャンスを提供できるよう、これからも努力を続けてまいります。」とコメントしています。

次に茨城県では、11月末現在の登録者数は8,189人で、この一年間ではドナー登録会は合計32回開催され、254名の方々にご登録いただきました。今年もまた、県薬務課、各保健所ならびに血液センターのご指導・ご協力により、一人でも多くの県民の皆様にご登録していただけるよう、いばらきの会メンバー全員で「一人でも多く、一刻も早く患者さんの救命に寄与する」目標に向かって「気負わず、あせらず、できることから、楽しく」のモットーで活動して参りましょう。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

財団名称変更のお知らせ

平成25年10月1日より、(公財)骨髓移植推進財団は「(公財)日本骨髓バンク」へ名称が変更となりました。現骨髓移植推進財団の業務内容、組織などに変更はありません。茨城県内におけるドナー登録会実施体制についても、従来通り継続して実施しており、変更はありません。なお、10月以降開催予定のドナー登録会において、要綱類に用いる名称は、従来の「骨髓移植推進財団」「財団」を「日本骨髓バンク」「骨髓バンク」へ変更しています。

ドナー登録者100万人をめざして！



こども病院クリスマス訪問



訪問日：平成25年12月14日 訪問先：茨城県立こども病院
参加者：牛島、葭原、小田倉、和田、伊井

このイベントは、2001年に実施して以来、毎年行っているイベントです。

一度、ノロウイルスが流行ったときに訪問できなかったことがありましたが、プレゼントだけは継続して行っており、今回で13年連続となりました。

この活動は、難病と闘う子供たちに少しでも楽しい時間を過ごしてもらいたいということが主目的ですが、当会の活動を広く知っていただくことで、骨髄バンクへの理解とドナー拡大につながればと、今回は新聞各紙にプレゼント贈呈の情報を事前にお知らせしたところ、朝日新聞と茨城新聞が取材にお越しになりました。

贈呈式では、8才になる杉山あんじちゃんが代表で受けてくださいました。お母さんに抱かれたあんじちゃんは、大きな伊井トカイにビックリして怖がりながらも牛島サンタからプレゼントをもらい、とても喜んでいました。

新聞2社とは、贈呈式の後その場で20分程取材を受け、私たちからは9割以上の患者

さんにドナーは見つまっているが、まだまだ移植を受けられる患者さんは6割に満たないことを説明し、そのためにはもっともっとドナー登録者が必要であることを、強く申し添えておきました。

贈呈式終了後は、恒例の各病棟巡りです。プレゼントとペンシルバルーンを持って、患児たちのもとへ。突然の訪問に、ビックリしている子供たちや、大喜びの子供たち。お母さん、お父さん方も喜んでくれました。

葭原サンタ、小田倉サンタ、かず美サンタもバルーンを作ったり、プレゼントを配ったりで大忙しの日でした。

こども病院在宅成育支援室の西野さんの息子さんも、サンタの衣装を着て写真を撮ったり、一緒に病室を回ったりで西野さんとともに大活躍。

恒例といえども13年間続けてこられたのは、こども病院のご理解はもとより、当初からイオングループのイエローシートキャンペーンで毎年約80個以上のプレゼントに換えさせて頂けていることが、とても大きな支援であることを改めて感じており、感謝の念に堪えません。

今後も20年30年と、こどもたちの笑顔を見るために続けていけたら、どんなに素晴らしいことかと、今からワクワクしております。

参加された皆さま、半日、休み無く動き回って、大変お疲れ様でした。来年もまた、こどもたちの笑顔を見て、活動のパワーに変えましょう。

伊井義人



H26.12.15朝日新聞より

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

建設未来協議会様からの善意金



贈呈式日時：12月2日 13時15分～

場所：茨城県建設業協会内応接室（水戸市）

寄付金額：30,000円

建設未来協議会：山崎副会長、大曾根地域貢献活動委員長、関事務局員（建設業協会業務課）

いばらきの会：伊井

取材：茨城新聞社（二方氏）、日本工業経済新聞社（沼田氏）

建設未来協議会からのご寄付は、平成19年度から継続して7年連続となりました。

これは、建設未来協議会が主となって毎年行っているイベント「建設フェスタ」でのチャリティーオークションの収益金一部を、「慈善団体に寄付をすることによって社会に貢献する。」という趣旨のもと、慈善金として当会にご寄付いただいているものです。

当会からは、チャリティーオークションへの出品として読売巨人軍のゆかりのものを、毎年提供しております。今年はジャビット人形2体と、財団からいただいた直筆サイン入りのポストカード4枚でした。

贈呈式といっても、過去の建設フェスタやオークションの思い出話や、今年の振り返りなどを暫く雑談的に話をしたり、骨髄バンクの全国の現状、茨城県の現状などを話したりしたあと、では、と言って、贈呈の写真取りに移りました。

贈呈の前の会話では、新聞社の方々も顔なじみになっているため、一緒に話に加わったりしながらの和気あいあいとした雰囲気でした。

贈呈式では、これからもお互い協力し合っ



で、私からも献血が行われる限り登録会は続けます、と約束してきました。

【写真左から】
大曾根地域貢献活動委員長、
山崎副会長、伊井

もうひとつ、新聞社の方もいる中でしたが、当会の活動できるメンバーが少なくなっていることもお話しし、若手の意識の高い方がいらっしゃれば是非ご参加をということも伝えてきました。

本当に強力な援軍です。年に一度ではありますが、大切なパートナーとして大事にしていきたいと思います。

事務局長 伊井義人

～～建設フェスタでの活動の様子～～



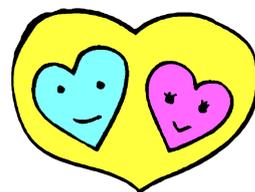
大人気のチャリティーオークション



20名の方がドナー登録してくださいました

ドナー登録者100万人をめざして！

「語りべ事業」始動！ ～つくば国際大学にて～



つくば国際大学（土浦市）において7月18日及び10月18日の2回にわたり、財団の「語りべ事業」として、骨髄バンクについて講義を実施しました。長尾&伊井ペアによる講義は、看護学生の心をつかみ、未来のナイチンゲールの心に響くものとなりました。

学生さんの感想は、両日合わせて152件！次ページにほんの一部ですが紹介します。

【7月18日】

土浦市のつくば国際大学の看護学生（3年生）約80名に骨髄バンクの話をしてきました。これは、今年赴任された堤先生から、是非バンクの話を学生にしてほしい、との要請があり、体験談も含めて一コマ90分の講演を実施したものです。財団の「語りべ事業」として初めて申請してみました。

内容は、自作のパワポで約50分ほどバンクの仕組みや流れ、現状などを説明し、30分のVTRを見てもらい、残りを質疑応答という形で進めました。

学生の面々は授業の一環でもあるため、結構メモを取っている学生もいました。こちらの話真剣に聞いていただけたようで、眠っている学生は見あたりません。

質疑応答も、「18歳～54歳と決めているのはなぜか」「ドナー43万人は多いと思うか、少ないと思うか」「なぜドナーと患者は面会できないのか、また、面会したいと思うか」などの鋭い質問があり、私としても本音で誠心誠意お答えしました。

最後に学生代表からお礼の言葉をいただいた後、私から学生に対して望むことを一言ほしいと言われ、「患者さん、そのご家族はもちろんドナーにも、やさしくあたたかく接していただけるような看護師さんになってほしい」と伝えました。

また、今後も継続して実施したいと思っています。

【10月18日】

長尾さんとともに、つくば国際大学で骨髄バンクに関する講義(?)を行ってきました。

7月にも3年生を対象に行ったところですが、今回は2年生対象(85名)で依頼があり、前回同様、財団の語りべ事業の一環で、元患者&ドナー経験者の体験談を含めたバンクの説明という形をとりました。

まず、30分の映画(生きるよろこびーいのちのボランティア)を見てもらい、続いて、自作パワポで約45分ほどバンクの仕組みや流れ、現状などを説明した後、元患者である長尾さんの体験談を話していただきました。

最後の質疑応答では、やはり看護師の卵としての観点での質問がありました。

長尾さんが感じた看護師にやってもらって嬉しかったことや、男性看護師に望むことなど。

7月は、私(ドナー側)一人での説明だったため、患者の視点の話はできませんでしたが、今回は両方の視点で話ことができました。

学生たちには、自分たちが患者さんから求められていること、患者さんへの接し方などが、とても分かりやすく感じられたことと思います。

今回の感想としては、とにかく長尾さんがすばらしいの一言です。学生たちの質問も長尾さんばかり。これはやはり辛い体験をされた長尾さんの一言ひと言が、学生たちには非常にインパクトがあったものと思います。

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

学生さんの感想（抜粋）

●実際にドナーを経験した事のある方のお話だったので説得力や考えを聞くことができ、すごく貴重な体験になりました。自分にも救える命があり、命をつなげていく事ができる事を改めて知り、すごく深く考えさせられました。映像では患者家族が最後提供されたときの涙を見て、命をつなぐとは、素晴らしい事だなと感じました。

●骨髄提供の一連の流れについてくわしく知ることが出来、とても良い機会になりました。骨髄を提供する側とされる側の覚悟や思いやりを知り、骨髄提供とは本当に尊い行為なのだと感じました。わたしもドナーになることについて少し考えてみようと思いました。

●自分が何日間か入院し、骨髄を採取するだけで患者のこれからの人生を支えることができる行為なのだと思います。ドナーは勇気を持ち提供するが、提供される側も死と隣り合わせであるにも関わらず、可能性を信じた決断。お互いに勇気を持った結果の骨髄移植だと思った。移植後も患者は治療に苦しみがあると思うが、成功することを希望にするからこそ懸命に治療に取り組むことができるのだと思った。

●今日の講義を聞いて感じたことは、骨髄移植に対して、ドナーの気持ち、患者さんの気持ちを理解することができました。患者さんは死と向かいあって生きています。その患者さんに対してどのような看護ができるのか、それが今後の勉強を行うことに対しての課題となるのではないのでしょうか。

●骨髄移植は必ず成功するとは限らない。この講義を聞いて、将来、このような血秋難病を患っているような患者さんを受け持つことがあるかもしれない。看護師は其中で患者、家族のことをしっかりと考え、適切な看護が必要になると考える。骨髄提供は人から人への命の贈りものであり、人が人の生命のために勇気を持ってのぞむからこそその、尊い行為である。看護師は命をケアすること、それがとても重要で大切なことだと感じた。

●私は骨髄移植には脊髄が関係していて、局所麻酔で行うイメージがあり、すごく痛いのではないかと怖いイメージがありました。講義を受けた今、そんな自分が恥ずかしいです。誤った知識のせいでドナー登録をせず、助けられる命を見捨ててしまっていたと思うと悔しいです。他にも誤った知識を持っている人が多いと思うので、周りに事実を伝え一緒に考えていきたいです。

●骨髄提供は命のおくりもの。レシピエントだけでなく、その家族・友人・さらにはドナーにも希望を与えるものだと感じた。今日、骨髄提供までの流れを学ぶことができたので、私は是非ドナーになりたいと思った。この機会を与えられたことに本当に感謝。長尾さんが私たちに話してくださったように、「見た目は健康そうでも本当の姿を見る」「いつも笑顔で」を忘れずにこれから患者さんに関わり、長尾さんが味わった感動、癒し、喜び、希望を与えられる看護師になりたい。

●伊井さんのドナーに対する考え方、患者に対する考え方は、医療に関わりのあるものとして、お手本になる姿だな、と思いました。私も患者さんの気持ち、周りの環境を毎回考えられるような看護師になりたいです。長尾さんの体験談を聞いて、実際の話聞くのははじめてだったので胸が痛みました。今、私たちは健康に生活できていますが、いつ何がおきてもおかしくないことを再確認しました“笑顔”“思いやり”を大切に、1日1日に感謝して日々努力していきたいです。今日は、本当にありがとうございました。

●一つの命の重みについて再認識しました。たかが私1人の登録で何かがかわるものだろうか、と心のすみで思う自分がいたのは事実です。でも、たかが私でも、今現在苦しんでいるドナーの方1人とでもHLAの型があれば1つの命を救えます。周囲の方にも希望をあたえられます。“たかが私”とっていてはふみきれないスタートだと実感しました。ぜひ登録します。近くの登録窓口に行きます。私のこの決断で1人でも多くの命が助かりますように。今日の話聞いて、ただただ願うばかりです。良い機会をあたえてくださり、本当にありがとうございました。1人のドナー登録者としてスタートを切っていきたいです。笑顔、わすれません。私の得意技です！ありがとうございました。

ドナー登録者100万人をめざして！

H25.4月～H25.12月 茨城県内活動報告

●5月2日 イトーヨーカドー古河店献血併行登録会

ドナー登録者数	5名（受付7名）	説明のみ	2名
献血者数	49名（申込64名）		
参加者	古河保健所 児玉様		
説明員	葭原、牛島		
地区普及広報委員	牛島英二		

当日早朝は小雨模様の天候でしたが、会場設営時点では快晴の好天に恵まれ、澄み切った青空の下での屋外登録会となりました。

この会場での開催は初めてで、今年度最初の登録会となります。店舗正面入口付近に献血バスを配置し、その脇に血液センターのテントと共に当方で準備したテントを設営しました。

受付開始以降次第に風が強まり、当方のテントはキャンプ用の軽量仕様のため、風で飛ばされそうになり、血液センターのご好意で鉄製のおもりをお借りして対応しました。それでも時折つむじ風が吹いてきた時は人力で押えてしのぎました。

さて、登録者は午前中に1名のみでしたが午後は4名の方に登録していただき、合計5名の登録がありました。その内2名の方は献血採血後の受付で、針の2度刺しをご了解いただいでご登録いただきました。参加された皆さん、大変お疲れ様でした。



(牛島英二)

●5月8日 東京電力ひたちなか発電所献血併行登録会

ドナー登録者数	18名（受付19名）	説明のみ	4～5名
献血者数	96名（申込108名）		
参加者	常陸大宮保健所 山崎様		
説明員	葭原、長尾、伊井（義）		
地区普及広報委員	伊井義人		

晴天の常陸那珂港の一角に高い煙突がそびえる火力発電所での登録会でした。

事務棟に入って、右に左にくねくねと廊下の角を曲がった先の一番奥の会議室が献血会場で、献血バスはというと、かなり離れた大型車用の駐車場に2台で、献血者は100m近く歩くような配置でした。

開始時間になってしばらくは献血者の出足もさほどではありませんでしたが、その後、順調な流れで進んでいきました。献血に来られる方は、ほとんどが腰に工具差しのベルトを巻いてヘルメットをかぶっていて、いかにも技術者という出で立ちの方々です。

午前中はなんとか7名の方に登録いただきましたが、中には、説明を聞いて辞退する方もいらっしゃいました。午後になり、離れた棟で作業されている方のマイクロバス送迎が始まり、ドッと混み合うときと、パタッと止むときが交互に訪れました。

結果として18名の方にドナー登録をいただきましたが、中には献血後の送迎バス待ち時間に説明を聞き、登録を決心してくださった方もいました。それ以外に2度刺しの方も3名ほどおられ、問診前の案内徹底を如何にするかが課題として残りました。

一日中晴天に恵まれていましたが、風は結構強く、室内での登録会に安堵した一日でもありました。参加された皆様、大変お疲れさまでした。

(伊井義人)

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

H25.4月～H25.12月 茨城県内活動報告

●5月20日 龍ヶ崎市役所献血併行登録会

ドナー登録者数	8名（受付9名）	説明のみ	1名
献血者数	60名（申込69名）	既登録者	7名
参加者	龍ヶ崎保健所 中島様		
説明員	葭原、長尾、牛島		
地区普及広報委員	牛島英二		

この会場での開催は8年ぶり3回目となります。1Fロビー内に献血受付とともにドナー登録受付テーブルをセットして9時半より受付開始し、最初の1時間で4名登録受付と幸先の良いスタートとなり、午前中で6名の登録がありました。献血受付でドナー登録の呼びかけをしていただいた効果が大きかったように思います。

また庁舎内放送で午前と午後それぞれ1回ずつ献血とドナー登録のお知らせ放送を流していただき、市職員の方も多くの方が献血会場にお越しいただきました。

当日の天候はあいにくの雨模様で朝から終日小雨が降り続き、昼頃は一時雨足が強くなることもあり、気温も終日20度に届かない肌寒い一日でした。ドナー登録は午後は振るわず2名の登録にとどまり、結局8名の登録で終了となりました。当日参加された皆様、大変お疲れ様でした

（牛島英二）



●6月7日 日本テキサス・インスツルメンツ献血併行登録会

ドナー登録者数	10名（受付10名）	既登録者	1名
献血者数	40名（申込43名）		
参加者	土浦保健所 金子様		
説明員	牛島、葭原		
地区普及広報委員	葭原健治		

日本テキサス・インスツルメンツ社員通用口を入ったすぐの広い通路をお借りして献血、骨髄バンク登録の受け付けを行いました。埃、塵を嫌う職場という印象を感じる環境での登録会でした。

午前は、献血受付開始後すぐに3人の方が登録を希望され、牛島さんが二人の方、私が1人に説明、そのあとは、待ち時間のない少ない午前でした。

午後の受付開始時も、午前の続きなような感じで始まりましたが、3時前くらいから献血希望者が多くなり受付待ちが多くなり、それに伴ってバンク登録希望の方が続き、バンク受付待ちという嬉しい状態が少しありました。特に特筆することはありませんが、登録されている方が1名ということは、次回（来年度）も実施してもよいのかな？と感じました。

保健室名で午前と午後、献血と骨髄バンク登録を実施している旨の館内放送が行われていました。今回も保健所・献血センター、バンク説明員の方々には多大なご協力いただきました、ならびに関係された皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

（葭原健治）

ドナー登録者100万人をめざして！

H25.4月～H25.12月 茨城県内活動報告

●6月19日 筑波大学献血併行登録会

ドナー登録者数	31名(受付34名)	説明のみ	1名
献血者数	70名(申込110名)	既登録者	10名以上
参加者	つくば保健所 永作様		
説明員	葭原、長尾、伊井(陽)、伊井(義)		
地区普及広報委員	伊井義人		



予報では強い雨が心配された一日でしたが、時折ポツポツと降る程度で、湿度は高かったものの、最後まで傘もあまり必要ないまま無事終了いたしました。

会場の配置としては、献血受付と献血バスは、受付から長いスロープを下った100m以上離れたところにバスが位置し、バンクの受付はバスの近くという、いつもどおりの配置でした。

幸先良く、9時半開始と同時に市内のご夫婦がバンク登録のみを目的に訪れました。これを皮切りに、献血希望者が続々とバンク受付に回って下さり、10人近くまでは献血者よりもバンク登録者の方が上回っている状態が続きました。

献血が初めての方も快くバンク登録に応じていただけるなど、正直なところ、こんなに骨髄バンクへの理解者が多いとは、少々びっくりした次第です。中には、「両親が登録してるから」と答えてくれる学生さんや、「献血前は断ったが、今からでも登録できますか?」と言って、二度刺しにも抵抗なく応じてくれた学生さんもいました。

また、外国からの留学生も4人ほど登録いただきましたが、特に、アフリカに行くために受けた予防注射(8ヶ月前)のため献血できなくてがっかりしていた留学生が、骨髄バンクは登録可能ということを知り、すぐに手続きをしてくれたのが印象的でした。

筑波大学での登録会は、10月にも今年度2回目の登録会を予定していますので、今回時間が無くて献血のみであった方や「よく考えます」と言ってくれた方にも、次回10月はよろしくと伝えておきました。全体的に、やはり1年生が多かったように思いますが、10人以上の既登録者がいることを考えると、筑波大生の意識の高さと奉仕精神の高さを感じずにはいられません。

一日中献血受付で呼びかけをして、時には説明まで終えた後に申込書記入までの状態で引き継いで下さった葭原さん、献血に降りてくる学生さんにバンク登録の呼びかけを行ったり、バンクしそうな説明業務をテキパキと捌いて下さった永作さん、長尾さん、蒸し暑い中、本当にありがとうございました。(伊井義人)

●6月21日 新日鐵住金鹿島製鉄所(鹿連会) 献血併行登録会

ドナー登録者数	2名(受付3名)	説明のみ	1名
献血者数	29名(申込38名)	既登録者	5名
参加者	潮来保健所 野口様	元登録者	1名
説明員	葭原	チャンス配布	1名
地区普及広報委員	葭原健治		

昨年に続き2年連続の登録会で期待をしていますが、ほとんど閑散とした一日でした。

バンク登録は、午前中に1名、午後1名の2名で終わりました。

今回は、元バンク登録(年齢超過で登録抹消)の方が、54歳で提供されて、55才を迎え、登録抹消の通知と厚労大臣からの提供に対する感謝状が同時に送られたとのことで感激したとお話になっていたのが印象的でした。

潮来保健所管内で今年度最初の登録会でお疲れと思いますが、来月早々にも登録会が「道の駅いたこ」で計画されておりますので、不慣れで大変とは思いますがよろしくお願ひいたします。登録会に参加・ご協力いただきました皆様ありがとうございました。まだ初回ということもあり、骨髄バンクを浸透させて行くには継続が必要かなと感じた一日でした。参加いただいた皆さま、お疲れ様でした。

(葭原健治)

気負わず、あせらず、できることから、楽しく!

H25.4月～H25.12月 茨城県内活動報告

●6月25日 (株)ヤマザキナビスコ古河営業所献血併行登録会

ドナー登録者数	6名(受付6名)	説明のみ	5名
献血者数	24名(申込27名)		
参加者	竜ヶ崎保健所 児玉様		
説明員	葭原、牛島		
地区普及広報委員	牛島英二		

朝から梅雨らしい雨模様の日で、午後からは雨足が強くなりました。

この会場では初めての開催となります。受付会場は入口から入って3階の通路をかなり進んだところにある社員休憩室の一角をお借りして献血と骨髄バンク受付を設けました。食品関係の会社のため、休憩室を訪れる社員の方々はほとんどが完全防備スタイルのまま休憩されるため、休憩室内の冷房温度はかなり低めに設定されていて、半袖では寒く感じられました。

献血を訪れる方は午前午後ともに大きな混雑はなく、終日の申込者数は30名を下回る結果となりました。骨髄バンクの受付結果は午前午後ともに3名ずつで合計6名の登録がありました。献血受付でセンター職員の方が積極的に声掛けをさせていただいたことが功を奏して、献血者数の割には多くの方にご登録いただきました。受付終了時間直前に会社ご担当者、センター受付の女性職員の方にご登録いただき、ありがたく思いました。

なお、午後の受付中に、ある社員の方に県パンフとアサガオのセットをお渡ししたところ、種を入れたビニール袋と説明文をホチキス止めしていることについて、会社規程で金属類の持込はできないとのこと指摘いただき、それ以降はホチキスを外してビニール袋と説明文を単品でパンフに挟み込んで配布いたしました。さすがは食品会社と感心しきりでした。

(牛島英二)

●7月8日 道の駅いたこ献血併行登録会

ドナー登録者数	5名(受付6名)	説明のみ	1名
献血者数	34名(申込44名)	既登録者	3名
参加者	潮来保健所 野口様	チャンス配布	3名
説明員	葭原		
協力者	道の駅いたこ、潮来市、潮来ライオンズクラブ		
地区普及広報委員	葭原健治		

梅雨が明けて快晴の天気で暑さの厳しい一日でした。

バンク登録は、午前中に2名、午後3名で報告の通り5名でした。午前中の登録者の1名は、潮来市の担当者の方でした。感謝！

今回は、梅雨明け早々のよい天気での登録会で、街頭における献血車のスタッフの大変さを痛感した一日でもありました。

午後は一段と暑さが増したにもかかわらず、献血者、登録者は午前より多かったことは、どう分析したらよいのか迷っております。全体的に献血者は少なく若い方は少ないようでした。

最後に、熱い中登録会に参加・ご協力いただきました皆様ありがとうございました。

(葭原健治)

ドナー登録者100万人をめざして！

H25.4月～H25.12月 茨城県内活動報告

●7月10日 日立製作所大みか事業所献血併行登録会

ドナー登録者数	13名（受付 13名）	説明のみ	1名
献血者数	101名（受付135名）	既登録者	10名
参加者	日立保健所 青木様		
説明員	葭原、井手、牛島		
地区普及広報委員	牛島英二		

この会場では2年連続4回目の開催となりました。会場は前回と同様本館の健康管理室の広いフロアを使用して、献血は問診までを会場内で、採血を外の献血車2台で行い、ドナー登録受付を会場の献血申込書記入場所のすぐ隣という配置で実施しました。

午前中は献血者も少なく閑散としていましたが、それでも4名の登録があり、午前の受付終了前には、血液センター受付担当の若い女性職員の方にも登録していただきました。

30分間の昼休み休憩を挟んで午後は12時半から受付開始となりましたが、午後2時頃から献血希望者が急激に増えて、会場内は一時大混雑となりました。

ドナー登録受付の方も、2時頃からの約30分間に5名の登録があり、2人同時説明が2回連続、ピーク時は3名同時説明という忙しさでした。

登録済みの方が10名いらっしゃいましたが、今回は幸いにも献血後に登録された方は一人もおられず、献血受付でセンター職員の方が積極的に声掛けしていただいたことが大きく効果を発揮してくれました。

結果として午後は9名の登録があり、合計で13名となって昨年実績とほぼ同数となり、献血者も101名で大満足の日となりました。参加された皆さん、大変お疲れ様でした。（牛島英二）



●7月22日 取手市役所献血併行登録会

ドナー登録者数	11名（受付 12名）
説明のみ	1名
既登録者	1名
献血者数	56名（申込70名）
参加者	竜ヶ崎保健所 中島様
説明員	葭原、境野、染谷、落合、牛島
地区普及広報委員	牛島英二



この会場での開催は11年振り2回目となります。前回は午前中のみで開催でしたが今回は終日開催となりました。会場は前回同様、議会棟1階の委員会室で、室内の机イスをそのまま配置換えして献血受付と登録受付を配置しました。

議会棟も含めて庁舎内フロアでは省エネが徹底されており、エアコンが入ったのは午前11時頃でしたが、午後からは気温も上昇し、会場の入口ドアを開放したままではエアコンの効果も薄く、蒸し暑い状態が続きました。

前日の選挙開票作業の影響か、午前中の献血受付数は少なく苦戦が続きましたが、登録の方は献血受付担当のセンター職員による積極的な声掛けにより、午前中で5名の登録がありました。

午後からは市役所職員の方が多数来場し、会場内から献血バスの中まで献血待ちの人であふれる状態が続いたため、隣の委員会室からイスを出して会場前の廊下で臨時的待ち席としましたが、大半の方が受付から採血終了まで1時間以上かかったようでした。

午後の登録は6名で合計11名となり、まずまずの結果となりました。暑い中、参加された皆さん、大変お疲れ様でした。（牛島英二）

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

H24.4月～H25.12月 茨城県内活動報告

●7月29日 ホームセンター山新鉾田店献血併行登録会

ドナー登録者数	1名(受付2名)	説明のみ	1名
献血者数	26名(申込38名)	チャンス配布	3名
参加者	潮来保健所 野口様		
説明員	葭原		
協力者	鉾田市		
地区普及広報委員	葭原健治		

梅雨が明けて久しいのですが、ここ数日は梅雨が戻ったような雨の一日でした。

そんな雨にもかかわらず、午前中の献血者は少なくなかったのですが、午後は午前より少なく雨もあり元気の出ない登録会になってしまいました。

バンク登録は、1名、説明のみが2名でした。そのうち1名は受付・説明後、休みが取れないので登録を断念。もう1名は、説明後、全身麻酔の説明のくだりで辞退されました。

今回は、ホームセンターの駐車場で献血併行登録会で、設営準備段階から雨で終了まで雨が止むことはありませんでした。こんな中で幸いにも、準備・撤収時には、雨が弱まりとても助かりました。

最後に、うっとおしい雨の中登録会に参加・ご協力していただきました皆様ありがとうございました。

(葭原健治)

●8月15日 ピアシティ石岡献血併行登録会

ドナー登録者数	2名(受付2名)	説明のみ	1名
献血者数	47名(申込64名)	既登録者	1名
参加者	土浦保健所：金子様	チャンス配布	3名
説明員	和田、葭原		
地区普及広報委員	葭原健治		

ピアシティ石岡の駐車場のほぼ真ん中付近において献血、骨髓バンク登録会を行いました。真夏の太陽の照りつけが強い熱い一日でした。

午前は、献血希望者が適度な間隔で訪れ、持ち時間の少ないスムーズな流れになっていました。バンク登録は1名にとどまりました。

午後は、午前中より気温が上昇しましたが、献血の受付待ちに数名という状態があり、バンク登録には声かけがやりやすい状況が続きました。そんな中でしたが、1名の登録にとどまりました。

この方は、採血が終わって、休んでいるときに、バンクのパンフレットを読んでバンク受付に来てくれました。

今回は、登録されている方が1名、説明のみと、突然だったのでということで、チャンスをお3名方に渡すことで終了しました。

最後に、熱い一日で、参加された方の体調はいかがでしたか？私は、だいぶ疲れました。

今回も保健所・献血センター、バンク説明員の方々には多大なご協力いただきました、ならびに関係された皆様には感謝いたします。ありがとうございました。

(葭原健治)

ドナー登録者100万人をめざして！

H25.4月～H25.12月 茨城県内活動報告

●9月10日 結城病院献血併行登録会

ドナー登録者数	10名(受付 10名)	説明のみ	1名
献血者数	34名(申込64名)	既登録者	4名
参加者	筑西保健所 國府田様	チャンス配布	3名
説明員	葭原		
地区普及広報委員	葭原健治(細谷代理)		

結城病院正面玄関横の回廊の様になっているところで献血、骨髄バンク登録会を行いました。建物の陰で直射日光が当たらない一日でした。午前・午後とも病院の担当の方が献血希望者に連絡を取ったいたおかげで、混雑もなく、また途切れることもなく、持ち時間の少ないスムーズな流れになっていました。

バンク登録は、午前中6名の方がありました。午後は、バンク登録に4名の方が応じてくれました。ほとんどの方が病院スタッフの方で、気持ちよく登録業務ができました。最後に、会場の外観、内部ともにホスピスのような感じで久々にゆったりとした登録会でした。

今回も保健所・献血センターの方々には多大なご協力いただきました、ならびに関係された皆様に感謝いたします。ありがとうございました。(葭原健治)

●9月25日 日立製作所日立事業所献血併行登録会

ドナー登録者数	16名(受付 18名)	説明のみ	2名
献血者数	105名(申込118名)	チャンス配布	3名
参加者	日立保健所 青木様		
既登録者数	11名		
説明員	葭原、井手、牛島		
地区普及広報委員	牛島英二		



この会場では2年連続4回目の開催となりました。当日の天候は、台風の影響で終日曇り時々小雨の蒸し暑い一日でした。

会場は前回と同様本館の組合事務室のフロアを使用して、献血は問診までを会場内で、採血を外の献血車2台で行い、ドナー登録受付を会場の献血問診テーブルのすぐ隣という配置で実施しました。

午前中は献血者も少なく閑散としていましたが、それでも4名の登録があり、午前の受付終了直前には、献血で比重NGの方にご本人とドクターの了解を得て登録していただきました。

30分間の昼休み休憩を挟んで午後は12時半から受付開始となりましたが、前回同様午後2時頃から献血希望者が急激に増えて、会場内は一時大混雑となり、献血バスの外にも待ち行列ができるほどでした。

ドナー登録受付の方も、献血希望者の増加に比例して2時頃から急速に増加し、説明が2人同時や3名同時(合計3回)という忙しさでした。

登録済みの方が11名いらっしゃいましたが、今回は献血後に登録された方は一人のみにとどまり、問診終了後献血バスに向かう方へ積極的に声掛けしたことが大きく効果を発揮してくれました。

結果として午後は12名の登録があり、合計で16名となって昨年実績の20名には届きませんでした。献血者も105名で大満足の日となりました。参加された皆さん、大変お疲れ様でした。

(牛島英二)

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

H25.4月～H25.12月 茨城県内活動報告

●9月27日 八千代町役場献血併行登録会

ドナー登録者数	4名（受付 4名）	既登録者数	1名
献血者数	80名（申込91名）		
参加者	筑西保健所 國府田様		
説明員	細谷（み）		
地区普及広報委員	細谷栄一		

八千代町役場での登録会はH8年とH11年に開催しておりますので3回目の開催となります。この庁舎は2007年にグッドデザイン賞を受賞した建物で、登録会の会場となったロビーは広々としてとても明るく美術館にでも来たような錯覚を覚えます。

当日は天気にも恵まれ少し汗ばむくらいでした。

会場の配置は広いフロアを利用して献血受付の反対側にドナー登録受付&説明会場を設置させていただきましたので理想的な配置になりました。

献血バス2台で臨みましたが、献血希望者の流れが切れることはありませんでしたが混雑するほどの実施者を得ることは出来ませんでした。

ドナー登録希望者もお昼まで一人の登録者も得ることが出来ませんでした。昼過ぎごろ2名の方にご登録頂き、午後に2名ご登録いただきました。血液センターの方にも献血受付時点でドナー登録のご案内もして頂いたことで複数名のご登録につながりました。

お忙しい業務の中ご協力いただきましたことに心から感謝いたします。

（細谷栄一）

●9月30日 三菱化学(株)鹿島事業所献血併行登録会

ドナー登録者数	3名（受付3名）	既登録者	12名
献血者数	44名（申込53名）		
参加者	潮来保健所 野口様		
説明員	葭原		
地区普及広報委員	葭原健治		

平成22・23・25年と一年明けての登録会の為か報告の通り登録されている方が12名、登録が3名で、献血受付者が52名で約3割弱が登録されているので、今回の事業所における次回の登録会は、数年後に。

午前中は、バンク登録者はなしでした。献血者も少なく最悪に結果も考えました。

午後、献血希望者の出足はあまりよくありませんでしたが、献血予定人数を超え、バンク登録者も3名を迎え、よい結果になりました。

今回も、献血受付時にバンク登録会を行っていますとの案内をしていただき勧誘がスムーズに行われ、感謝感謝です。

最後に、登録会に参加・ご協力いただきました皆様ありがとうございました。

（葭原健治）

ドナー登録者100万人をめざして！

H25.4月～H25.12月 茨城県内活動報告

●10月8日 ヨークタウン坂東献血併行登録会

ドナー登録者数	3名	説明のみ	1名
献血者数	43名(申込56名)		
参加者	筑西保健所 國府田様		
説明員	葭原、細谷(み)、細谷(え)		
地区普及広報委員	細谷栄一		

天候にも恵まれ、朝から秋晴れの清しい一日になりました。

今回は、広大なショッピングモールのほぼ駐車場の真ん中での献血&登録会でしたので、一般のショッピングに来た方への周知はなかなか難しく献血希望者の方への声掛けのみになりました。

それでも血液センターの方の受付時にドナー登録をご案内いただいたことにより3名の方のご登録を得ることができました。

ご協力いただきました皆さん本当にありがとうございました。

(細谷栄一)

●10月10日 カワチ薬品真鍋店献血併行登録会

ドナー登録者数	5名(受付5名)	説明のみ	1名
献血者数	23名(申込33名)	既登録者	1名
参加者	土浦健所 金子様	チャンス配布	3名
説明員	和田、葭原		
協力者	土浦市、土浦ライオンズクラブ		
地区普及広報委員	葭原健治		

献血受付、バンク登録会はカワチ薬品真鍋店の前にテントを設置して行われました。

昨日の台風による強風は収まりましたが、時々風が強く吹き、日差しも強かったですが、真鍋店の日陰でしたのでそれほど熱くはありませんでした。

午前、午後を通して、献血希望者は少ない一日でした。バンク登録は午前中に1名でした。午後は、4名の方が登録をしてくれましたが、そのうち2名は、血液センターの方で、もう1名の方は、ライオンズクラブの方でした。感謝。

今回は、登録されていた方が1名、説明を受けてこんなに重いのですねと、感想を残し登録辞退されました。チャンスは3名の興味ありそうな方に渡すことで終了しました。

最後に、今回も保健所・献血センター、バンク説明員の方々には多大なご協力いただきました。ならびに関係された皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

(葭原健治)

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

H25.4月～H25.12月 茨城県内活動報告

●10月19日 かみすフェスタ2013献血併行登録会

ドナー登録者数	4名(受付 4名)	既登録者	1名
献血者数	30名(申込 35名)	チャンス配布	3名
参加者	潮来保健所 野口様		
説明員	葭原		
協力者	神栖ライオンズクラブ		
地区普及広報委員	葭原健治		

日本のはるか南方にある台風の影響でしょうか、朝から風の強い日でした。2時半ころからは、雨も加わり寒い一日でした。

午前の献血受付開始は数名の方がありましたが、その後受付に訪れる方はあまり増えませんでした。午前中にバンク登録は3名ありました。午後は、雲が厚くなり、風も強く、雨も加わって人通りも少なくなりあまり元気の出ない寒い登録会になってしまいましたが、午後にもバンク登録が1名ありました。撤収時には、雨が弱まり助かりました。

最後に、風の強い中、寒い登録会に参加・ご協力いただきました皆様ありがとうございました。

(葭原健治)

●10月19日 三和農村環境改善センター献血併行登録会

ドナー登録者数	6名(受付 6名)	既登録者数	3名
献血者数	70名(申込94名)		
参加者	古河保健所 児玉様		
説明員	牛島		
協力者	茨城三和ライオンズクラブ		
地区普及広報委員	牛島英二		

この会場での開催は昨年に続いて2回目となります。

昨年同様、会場となりの野球場で開催された少年野球大会で各チームに5名程度の献血をお願いして、試合前後に両チームから献血に来てもらう方式で行われました。そのため、混雑と閑散の繰り返しという状態は昨年と同様で、受付開始後1時間ほどは30名ほどの方が押し寄せて会場は大混雑となりました。

献血バスは2台配車され、昼休み休憩無しの連続受付となりましたが、ドナー登録は午前中3名、午後も3名で合計6名の結果となり、昨年実績10名には届きませんでした。

献血に来られる方は、自チームの応援や試合後の移動などの制約により、時間が無いとおっしゃる方が多く、ドナー登録の声掛けをしても反応が低く、献血受付でも声掛けしていただきましたが、残念ながら低調な結果に終わりました。

当日の天候は終日曇天の肌寒い一日でしたが、幸い雨にはならず、野球大会も予定通りに終了しました。

(牛島英二)

ドナー登録者100万人をめざして！

H25.4月～H25.12月 茨城県内活動報告

●10月27日 建設フェスタ（笠松運動公園）献血併行登録会

ドナー登録者数	20名（受付21名）	既登録者	3～4名
献血者数	55名（申込76名）		
参加者	常陸大宮保健所 大曾根様		
説明員	葭原、和田、伊井（陽）、伊井（義）		
地区普及広報委員	伊井義人		

台風27号が心配されていましたが、天気は快晴で、なんとか無事イベント開催と相成りました。

しかし、会場は前日までの雨でぬかるみがたくさんできており、会場内を歩くだけで靴はグチャグチャに汚れ、駐車場の車も泥だらけという状態でした。それでも例年どおり人出は多く、また、献血・骨髄バンクのブースは、会場入り口のインフォメーション向かいで絶好の場所に配置されていたので、献血にもバンク登録にも期待のできるイベントでした。

ところが、開始当初は期待を裏切るように、ほとんど献血に立ち寄る方がなく、午前中はまったく献血が混み合うこともなかったように思います。親子競技やらスタンプラリーなどのイベント参加で、まずは受付をするために、直行で目的の受付へ向かう親子が多かったのかも知れません。

午後になり、ひととおりイベントを楽しんだお父さんお母さん方が寄って下さるようになり、献血バスの問診待ちの列がちょこちょこできるくらいになりました。

そんな中、バンク登録は午前中9人、午後11人という結果で、献血希望者の割には健闘したかな、という感じです。

印象に残ったのは、献血に訪れたお母さんにバンク登録会の声かけをしたとき、「この子がその移植待ちの子です。」とあって、連れていた小学校低学年くらいの男の子の頭をなでました。お姉ちゃんも一緒にいたのですが、しっかりと弟を面倒見ているように見えました。

でも、一見してとても移植待ちとは思えないほど元気に振る舞っていて、ウルッとなる気持ちを抑えつつ、バルーンでトンボを作ってあげました。

お母さんは、一段落したらバンク登録しようと思います、と言って下さいました。元気になることを祈るばかりです。

恒例のチャリティオークションでは、当会からジャイアンツのジャビット人形2体と、財団から頂



いた杉内投手、越智投手、橋本選手の直筆サイン入りのポストカード4枚を付けて提供しました。

チャリティオークションもイベント参加団体からの提供品で5回のオークションを行い、大いに盛り上がっていました。終了後、実行委員の挨拶の中で、オークション売上金は、当会と社会福祉協議会へ寄付されることを宣言して下さいました。ありがたいことです。

結構風の強い一日でしたが、参加された皆さま、大変お疲れさまでした。

（伊井義人）

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

H25.4月～H25.12月 茨城県内活動報告

●11月9日 茨城大学茨苑祭献血併行登録会

ドナー登録者数	12名(受付14名)	説明のみ	3名
献血者数	41名(申込53名)	既登録者数	10名(うちドナー経験者1名)
参加者	水戸保健所 杉山様		
説明員	長尾、和田、小田倉、伊井(陽)、伊井(義)		
地区普及広報委員	伊井義人		

茨城大学では3年連続の大学祭での登録会となりました。当日は、天気も良くなるという予報でしたが、一日中曇り空で肌寒い一日でした。大学の各棟が順々に工事中(改装中?)ということもあり、献血会場は例年同じですが、学生が出すテントの場所が毎年変わっており、それによって人の流れも大きく変わってきます。2年前は、献血会場のそばまでテントがありましたが、去年は少し離れ、今年は目一杯離れてしまいました。献血バスの周りは人通りはほとんどなく、呼び込みすら会場ではできない状態で、午前中は献血自体14～5人程度の人数にとどまりました。午後からようやく献血に訪れる方もコンスタントに増えてきて、バスの前に1人2人待つような状態がしばしばありました。

バンクの受付も献血と同様の動きで、午前は3名、午後になって11名の受付となりました。一昨年29名、昨年22名には及びませんでした。場所的なものや献血者の減少も考慮すると、仕方のない部分はあったように思います。とても寒く感じた一日でしたが、参加された皆さま、大変お疲れさまでした。(伊井義人)

●11月12日 キヤノン化成岩間事業所献血併行登録会

ドナー登録者数	22名(受付22名)
献血者数	70名(申込83名)
参加者	水戸保健所 杉山様
説明員	牛島、葭原、伊井(義)
地区普及広報委員	伊井義人



初めてとなるキヤノン化成岩間事業所での献血並行型登録会でした。献血会場は正門近くの建物と建物に挟まれたエリアで、そこに献血バス、血液センターのテント2張り、その隣に骨髓バンクのテント、という配置でした。

午後からはバスが1台追加され2台体制となるため、昼休みなしで献血が行われました。開始時間とともに、順調に従業員の皆さんが献血に訪れてくださいましたが、それ以外で構内を出歩いている姿はほとんど見かけません。歩いている方々は、ほとんどが献血目的だったように思います。

バンクの受付は、午前中8名、正午を過ぎてから14名という結果でしたが、登録いただいた方の中には、「登録のチャンスがあればやろうと思っていた。今日見かけなければ、一生登録しなかったかも知れない」と言ってくださった方もいて、大変嬉しく思いました。

合計22名というたくさんの方に登録いただきましたが、ここでの登録会は初めてということもあつたかと思えます。

また、「登録していて一度マッチングしたが、ドナー休暇が無く仕事も休めなかったため、断らざるを得なかった。この状態だと折角一致しても患者さんに迷惑がかかるから、取り消した」という方もおり、勤務する会社(企業)でドナー休暇を設けているかいないかも、登録者数(登録率)に影響していることを感じた登録会でした。

(なんとか企業のドナー休暇制度を広げる方法はないのでしょうか。厚生労働省が制度導入企業に補助金を出すような仕組みがあれば、少しは広がるかも知れませんが・・・)

この日はとても天気の良い一日でしたが、場所的にはまったく陽が差さない所であったため、気温はさほど上がらなく、とても肌寒さを感じました。血液センターさんのお計らいで、テントに横幕を張ってくださり、おかげでかなり寒さが緩和されました。感謝感謝です。参加いただきました皆さん、寒い中大変お疲れさまでした。(伊井義人)

ドナー登録者100万人をめざして!

H25.4月～H25.12月 茨城県内活動報告

●11月26日 桜川市岩瀬中央公民館献血併行登録会

ドナー登録者数	4名(受付 5名)	説明のみ	3名
献血者数	114名(申込 142名)	既登録者	6名
参加者	筑西保健所 國府田様	チャンス配布	3名
説明員	長尾、葭原		
協力者	岩瀬ライオンズクラブ		
地区普及広報委員	葭原健治(細谷代理)		

桜川市岩瀬中央公民館での登録会は、献血車2台で行われました。
受付は室内の畳の部屋で行われました。骨髄バンク登録会は3年連続の実施であり4名の登録という結果になりました。

午前中の献血受付はそれほど多くない感じでしたが、岩瀬ライオンズクラブの方が会員の方々に会場から献血依頼の電話をしていただいたおかげで献血者は増えましたが、バンク登録 4名(昨年5名)、説明のみ 3名(昨年1名)、既登録者 6名(昨年6名)で昨年とほとんど同じ結果となりました。

お昼前に、広報車で献血の呼びかけをしたとのことで、その結果もと思いますが、高校生が3人献血に訪れていました。

今回も保健所・献血センターライオンズクラブの方々には多大なご協力いただきました、ならびに参加関係された皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

(葭原健治)

●12月3日 カインズホーム玉造店献血併行登録会

ドナー登録者数	2名(受付3名)	説明のみ	5名
献血者数	42名(申込47名)	既登録者数	3名
参加者	潮来保健所 野口様	チャンス配布	3名
説明員	葭原		
地区普及広報委員	葭原健治		

駐車場でテントを設置しての献血並行登録会で、防寒対策をしたのですが、ストーブが不要な穏やかな日でした。

登録会は、昨年度に続いての開催でしたので昨年と同じ程度の成果を期待しましたが、バンク登録は、午前中1名、午後1名、説明のみ1名でした。

今回幸い風が強く吹くことはありませんでしたが、テント用の重りを使用しました。今回も、献血センターさんから日よけ用の幕をお借りして防寒対策を講じたおかげもあり感謝です。

ドナー登録数4名(受付4名)、チャンス配布1名、既登録者3名、献血者数28名(受付38名)で、昨年より献血実施は増えましたが、バンク登録は半減でした。

献血の受付は、検診用のバスで行われ、午前は順調な受付で混雑することはありませんでしたが11時半ころから受付に訪れる方は途切れてしまいました。

午後は、3時頃に採血待ちの方が数名ありましたが、ゆったりとした一日でした。

最後になりましたが、参加・ご協力していただきました皆様ありがとうございました。

(葭原健治)

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

H25.4月～H25.12月 茨城県内活動報告

●12月3日 日立金属(株)高砂工場献血併行登録会

ドナー登録者数	10名(受付11名)	説明のみ 1名
献血者数	56名(申込59名)	
参加者	日立保健所 青木様	
説明員	井手、牛島	
協力者	十王ライオンズクラブ	
地区普及広報委員	牛島英二	

この会場での登録会は、9年ぶり2回目となります。

当日の天候は、朝方は冷え込みましたが晴天のおだやかな一日となりました。

会場は前回同様、診療所隣の広いフロアを使用して献血は問診までを会場内で、採血を屋外の献血バスで行い、登録受付を献血申込みテーブルのすぐ隣という配置で行いました。

午前中は献血者も少なく、閑散としていましたがそれでも3名の登録がありました。午後の受付開始と同時に献血希望者が多数来場して、一時かなりの混雑となり、バスの外まで待ち行列ができるほどでした。

ドナー登録は、献血受付でセンター職員の方による声掛けと、問診前に登録受付へ行くよう登録希望者へ案内していただいたことが効を奏して、献血後に登録希望された方はわずか1名のみで、午後の登録者数は7名となり、合計10名とますますの結果となりました。

なお、受付終了直前に保健所ご担当の青木様にもご本人自らご登録いただきました。

参加された皆さん、大変お疲れ様でした。

(牛島英二)

●12月10日 フードスクエアカスミ阿見店献血併行登録会

ドナー登録者数	2名(受付4名)	説明のみ 3名
献血者数	19名(申込23名)	チャンス配布 5名
参加者	土浦保健所 金子様	
説明員	牛島、葭原	
協力者	阿見ライオンズクラブ	
地区普及広報委員	葭原健治	

フードスクエアカスミ阿見店出入り口横にテントを設置しての献血並行登録会でした。

テント設置時には雨が降り、10時半ころには、暗くなるとともに雷とともに激しい雨になりましたが、午前の受付終了頃には雨が収まり、薄日が出そうな少し明るくなりました。

そんな中、バンク登録の方が1名ありまして少し期待というか元気が出ました。もちろんストーブを使用して寒さをしのいでいました。

午後の受け付け開始からは、日差しが強くなり雲ひとつない明るい暖かな気候で3時半ころからは、また雲が多くなり寒くなるとともに登録会を終了いたしました。午後のバンク登録は、1名ありました。バンク登録は、午前1名、午後1名、説明のみ3名でした。

今回、雨は強かったですが、幸い風は、終了時の4時頃から強くなりましたが、テント用の重りを使用しましたので心配はありませんでした。

待ち時間のほとんどない、閑散とした献血並行登録会でした。

最後になりましたが、参加・ご協力いただきました皆様ありがとうございました。

(葭原健治)

ドナー登録者100万人をめざして！

H25.4月～H25.12月 茨城県内活動報告

●12月13日 マックスバリュ常陸太田店献血併行登録会

ドナー登録者数 10名(受付 11名)
献血者数 52名(申込 63名)
参加者 常陸大宮保健所 松崎様
説明員 葭原、伊井(義)
地区普及広報委員 伊井義人

常陸太田地区での登録会は、市役所の周辺、半径約200m範囲の中でほぼ毎年行っております。この日は、風が少し強めで気温も低めでしたが、天気は良く比較的過ごしやすい天候でした。テントも血液センターのお計らいで周りをぐるっと囲んでいただき、ストーブの熱も拡散することなく、寒さ対策バッチリの体制でした。

献血受付が始まってすぐ、男性の方がドナー登録受付にも回ってくださいましたが、少なくとも3泊4日の入院が困難とのことで、結果的には説明のみとなりました。

その後は、献血に訪れる方も少なく、またご高齢の方が大半を占めており、なかなか声をかけられない時間帯もありましたが、なんとか午前中に3名の方に登録いただきました。

午後は、献血希望者もだんだんと増えていき、比例してドナー登録に回って下さる方も多くなり、結果的に午後7名で、合計10名の方に登録いただきました。中には、初めての献血にもかかわらず、3人組の若い女性が熱心に説明を聞いてくださり、登録もして下さったのが印象的でした。

参加された皆さま、大変お疲れさまでした。

(伊井義人)

●献血ルームでの普及活動

県内の献血ルームにおいて献血併行登録会とは別に、葭原委員が普及活動を行ってくださっています。

以前から水戸及びつくばの献血ルームで活動されていますが、昨年秋からは日立献血ルームにも足を運ばれ、活動の場を広げられ、パンフレットの配布や説明等を積極的に行い、県内の骨髄バンクの協力者を着実に増やしてくれています。

葭原委員、いつもありがとうございます！

平成25年4月から12月までの活動日は、以下のとおりです。

【水戸献血ルーム】 登録者数：13名

実施日：4月16日、5月22日、6月12日、7月18日、8月28日、9月3日、10月17日、
11月5日、12月12日

【つくば献血ルーム】 登録者数11名

実施日：4月19日、5月16日、6月12日、7月16日、8月20日、9月18日、10月21日、
11月8日

【日立献血ルーム】 登録者数3名

実施日：10月13日、10月22日、12月4日

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

骨髓バンクのボランティアを応援してください

骨髓バンクを支援するいばらきの会では、茨城県内で骨髓バンクの普及啓発をボランティアで行っています。活動資金は会費や皆さまの善意の寄付によってまかなわれています。

ボランティア活動への応援をお待ちしております。

郵便振替口座名義：00110-3-127575

加入者名義：骨髓バンクを支援するいばらきの会

事務局からのお知らせ

心のごもったご寄付をありがとうございました。

大里千恵子様 10,000円 長尾洋子様 8,000円

菊池玲江様 5,000円 細谷栄一様 6,000円

後藤カツ子様 5,000円 山崎揚久様 1,000円

牛島英二様 1,000円

建設未来協議会様 30,000円

ドナー登録は18歳から54歳までの健康な方ならどなたでも登録ができます。1人でも多くの皆様の御協力をお願いいたします。

また、日本骨髓バンクのホームページからも登録申込書の印刷が可能です。ドナー登録についての詳しい説明やQ&Aもございますので、是非ご覧ください。

URL <http://www.jmdp.or.jp/index.html>

【編集後記】

皆さま、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今号の編集にあたり、つくば国際大学での講義における学生さんの感想を改めて読ませていただきました。

未来ある若者の意識が、骨髓バンクの必要性を考えて、それぞれの形で貢献していこうという気持ちが表現されており、感動して涙が止まりませんでした。

将来、笑顔が素敵な看護師さんが増大しそうですね。その日を楽しみにしています。

私も、笑顔笑顔っ♪

(編集担当 境野紀子)

●献血と骨髓バンク●

献血は、半世紀以上の歴史があり、国民の間にはすっかり日常のものとして定着した。年間の献血者数は延べ約500万人にも達する。血液事業は、国と日赤・地方自治体が主体となって実施され、全国各地の献血ルームや献血バスなどの献血会場で日常的に行われている。各地の血液センターには多数の職員が配置され、約500万人の献血を実施・受け入れる体制が整備されている。

一方、骨髓バンクはどうか。公益財団法人日本骨髓バンクが中央組織として存在しているが、ドナー登録希望者募集業務を行う登録会担当職員はわずかに5名程度で、全国各地の登録会開催運営の実務を担当するのは骨髓バンクより委嘱された「地区普及広報委員」「説明員」という名のボランティアであり、多くは地元ボランティア団体の構成メンバーである。

骨髓バンク創設後20年が経過しても、ドナー登録数累計は60万人弱にとどまっているのは、こうしたドナー登録推進体制の構造的欠陥が主因と考えられる。

この対策として血液センターと同様に、登録担当職員数を大幅に増員することが第一に思い浮かぶが、骨髓バンクの収益構成は国からの補助金、保険収入、各種寄付金、患者負担金という限られたものでしかなく、現状では到底無理である。理想論としては、日赤が骨髓バンク事業を血液事業の中に取り込み、献血ルームや献血バスでの献血受付と同時にドナー登録受付も日常的に行うことである。この理想論が現実のものとなるまでは、現行のボランティア依存型体制を継続していくしかない。だが、ボランティア側もメンバーの高齢化や過度の負担などにより疲弊感が高まっており、この体制がいつまで続けられるかには大きな不安がある。

我々ボランティアは、人間が持つ利他本能（困っている人を助けたい）に基づき、病に苦しむ人を一人でも多く救いたい、その役に立ちたいという思いで日々の活動に励んでいる。一人でも多くのドナー登録者を増やすことが患者さんの救命に直結しており、骨髓移植を受けて元気になった患者さんの笑顔を見ることがボランティアへの最高の糧である。当会モットーの「気負わず、あせらず、できることから、楽しく」で、これからも骨髓バンクとの関りを続けていきたい。(会長 牛島英二)

“ひとは神になれない。でも、見知らぬ他人の痛みを、自分の痛みとして感じられたその瞬間、ひとは天使になる。”

ドナー登録者100万人をめざして！



Illustration by 浅生ハルミン

日本骨髄バンク骨髄提供希望者(ドナー)登録者数:441,525人(県内8,211人)

骨髄移植希望者(患者数):2,278人(国内1,418人 県内29人)

バンクを通じての移植例数:16,409例

(海外230例、県内移植数261例、県内採取数329例)

(2013年12月末現在)

(公財)日本骨髄バンク ホームページ <http://www.jmdp.or.jp>

ドナー登録についてのご質問・お問い合わせは

骨髄バンクフリーダイヤル 0120-445-445 または ドナーズネット <http://donorsnet.net> まで

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！